

社協だより

はやしま福祉情報

CONTENTS

- 2 新会長あいさつ
- 24 社協だより創刊100号特集 (社協のあゆみ・寄稿)
- 5 福祉のまちづくりフォーラム・感謝状贈呈式 ホームページパナー広告募集
- 67 よりそい談話室・ホームヘルパー訪問記 デイサービスセンター通信
- 8 ふくし活動フォトギャラリー

【基本理念】 **お** たがいが支えあい **あ** んしんして **し** あわせに暮らせる **す** みよい地域をつくります



福祉有償運送事業を開始します!

「はやしまほっとプラン」に基づき、1年間の外出支援活動の検討と試行を経て、平成28年4月から福祉有償運送事業を開始します。公共交通機関を自力で利用できない高齢者や障がいがある方のお宅と目的地間の福祉車両による移動支援を有償により行います。詳細は、折込チラシをご覧ください。

ホームページ リニューアル作業中!



本会の事業活動や町内の福祉活動をより身近に感じていただくため、平成28年4月中にホームページをリニューアルします。従来は発信できなかった事業活動や福祉活動の生の情報をできる限りリアルタイムに発信していきます。ご期待ください! [関連記事P.5]



新会長あいさつ



早島町
社会福祉協議会
会長
長鋪 健

この二月に会長に就任しました。長鋪でございます。就任時に社協だよりが創刊一〇〇号を迎えることに感慨深い思いでございます。

五十年ほど前に、縁あってこの早島に住み今日を迎えています。そして、一年あまり早島町社会福祉協議会に、理事として参加させて頂きました。理事になるにあたって「自分の経験（特別養護老人ホームの勤務）が、お役に立てる」と思いました。それから今日に至るまで、協議会の活動等の報告を読み思いました。小さな町早島ならではの、実にきめ細かい活動と、それを支える組織等素晴らしいものがあります。何より多くの町民の参加です。皆様のご意見を頂き「はやしまほっとプラン（早島町地域福祉活動計画）」を作成、それにより、より確かな一歩を踏み出しています。

本会の掲げる理念「お互いが支え合い 安心して暮らせる住みよい地域をつくります。」の実現に向けて皆様のご協力、ご支援をお願い申し上げます。就任にあたってのご挨拶とさせていただきます。

- 平成14年 4月 ほほえみ基金を創設（ほほえみ基金事業を開始）
苦情解決のための第三者委員を設置
- 7月 ヤクルト愛の配布事業を開始 [~平成17年度]
ゴミ袋配布事業を開始 [~平成17年度]
- 12月 歳末すす払いおたすけサービスを開始
(現・年末大掃除おたすけサービス)
- 平成15年 1月 障がい者パソコン講座を開講
- 2月 ひとり親家庭リフレッシュチケット贈呈事業を開始 [~平成16年度]
- 4月 支援費制度に基づく身体・知的障がい者を対象とした訪問介護事業を開始 (現・障害者総合支援法に基づく訪問介護事業)
- 12月 ふれあいクリスマス交流会 (知的障がい児間の交流)
- 平成16年 1月 新春もちつき大会 (障がい者福祉啓発事業) を開始 [~平成23年度]
- 2月 パソコンボランティア養成講座を開講
- 4月 「早島1220」に住民運営型ボランティアセンターを開設 [~平成17年度]
- 平成17年 1月 会報・チラシ作成講座 (福祉団体向け) を開講
- 4月 絵手紙ボランティア養成講座を開講
- 10月 ボランティアフェスタを開催 (ボランティア普及啓発イベント)
- 平成18年 4月 早島町地域福祉センター指定管理業務を開始
特定労働者派遣事業 (地域包括支援センターへ職員派遣) を開始
- 11月 さんさん祭り (介護事業利用者向け) を開催 [~平成19年度]
- 平成19年 1月 地域福祉セミナーを開講 [~平成19年度]
- 10月 早島町地域福祉センターの愛称募集により『オアシス早島』を選定
- 平成21年 6月 訪問介護員養成研修 (2級課程) を開始 [~平成23年度]
- 平成22年 3月 福祉 (当事者) 団体勉強会を開講 [~平成23年度]
- 4月 日常生活自立支援事業 (旧・地域福祉権利擁護事業) を開始
- 11月 早島町社会福祉協議会法人化20周年記念式を挙行
- 平成24年 6月 介護員養成研修 (初任者) を開始
- 12月 福祉映画会を開始
- 平成25年 3月 福祉健康レクリエーション講座を開講
コミュニケーション麻雀を広める講座を開講
- 6月 早島町地域福祉活動計画策定に着手
- 平成27年 3月 早島町地域福祉活動計画「はやしまほっとプラン」策定
- 6月 福祉のまちづくりフォーラムを開始



※赤字：現在継続事業

早島町社会福祉協議会のあゆみ

早島町社会福祉協議会が誕生して48年、法人化されて27年が経過しました。目まぐるしい時代の流れ、未曾有の高齢化の急速な進展に伴う社会福祉制度の変革と多様な福祉課題や生活課題の出現。その時々々に住民や福祉関係者の皆さんとの協働や町行政との連携により、様々な事業活動に取り組んできました。

創刊100号にあたり、本会事業活動の軌跡を振り返ってみました。



- 昭和43年 4月 **早島町役場内に前身の早島町社会福祉協議会を設立**
- 平成元年 2月 **早島町社会福祉協議会を社会福祉法人化**
ボランティアによる『ふれあい給食活動』の普及推進を開始
- 9月 早島町高齢者サービス相談センター事業を受託〔～平成18年度〕
介護用具貸出サービス事業を開始
- 平成4年 4月 **ホームヘルパー派遣事業を開始**
- 11月 全国社会福祉協議会会長表彰（優良社会福祉協議会）を受賞
- 平成5年 9月 『福祉委員制度』を創設（現・福祉活動員制度）
- 平成6年 4月 ボランティア協力校指定事業を開始〔～平成17年度〕
（平成6年度～早島小学校を指定／平成7年度～早島中学校を指定）
- 平成7年 2月 ふれあい福祉カード（要援護者）及び緊急連絡カード
（65歳以上同居老人及び70歳以上の老人世帯）の作成を開始
〔平成18年度～町へ移管〕
- 4月 児童問題相談所を開設〔平成18年度～町へ移管〕
- 平成8年 4月 **登録ホームヘルパー制度を開始**
- 平成9年 4月 福祉のまちづくり推進事業を開始〔～平成17年度〕
地域ふれあい交流事業を開始〔～平成15年度〕
高齢者給食サービス助成事業を開始
児童遊園地遊具設置事業を開始〔～平成10年度〕
- 8月 **夏のボランティア体験事業を開始**
- 平成10年 6月 福祉車両貸出サービス事業を開始〔～平成20年度〕
- 平成11年 2月 **福祉体験学習事業を開始**
- 4月 **早島町地域福祉センター維持管理事業の受託を開始〔～平成17年度〕**
〔前潟249-1〕に完成した早島町地域福祉センター内へ事務所を移転
早島町在宅介護支援センター事業の受託を開始〔～平成17年度〕
- 5月 デイサービス事業を開始
- 7月 要約筆記者養成講座を開講〔～平成14年度〕
- 10月 介護保険要介護認定調査の受託を開始
在宅介護者リフレッシュ事業を開始〔～平成17年度〕
- 平成12年 2月 介護教室を開催
- 4月 **介護保険法に基づく介護保険事業**
（居宅介護支援・通所介護・訪問介護）を開始
悠遊デイサービス事業（介護保険の要介護者を除く方を対象）
を開始〔～平成14年度〕
早島町生活支援訪問事業の受託を開始
（介護保険の要介護者を除く方を対象）
- 配食サービス事業を開始〔～平成21年度〕
- 6月 移送サービス事業を開始〔～平成19年度〕
- 7月 ベビーシート貸出事業を開始〔～平成17年度〕
- 8月 訪問介護員養成研修3級課程を開講〔～平成20年度〕
- 11月 福祉まつりを開催〔～平成15年度〕
- 平成13年 2月 **早島町社会福祉協議会法人化10周年記念式を挙行**
- 4月 朗読ボランティア養成講座を開講〔～平成14年度〕
- 5月 『ふれあいいきいきサロン活動』の普及推進を開始
- 6月 ふれあいいきいきサロン活動助成事業を開始
- 8月 高齢者パソコン講座を開講〔～平成16年度〕
- 11月 ハートフル塾を開講〔～平成15年度〕
親子クッキングサロンの開催〔～平成14年度〕



創刊100号に寄せて



早島町長
中川 真寿男

社協だより第一〇〇号の創刊誠におめでとうございます。近年、少子高齢社会の進展が大きな社会問題となっています。早島町社会福祉協議会におかれましては、今まで培われてきた地域との絆を大切に、引き続き魅力あるまちづくりの実現に向けてご協力賜りますようお願い申し上げます。



早島町議会
議長
小池 宏治

社協だより創刊一〇〇号おめでとうございます。早島町も今年が町制施行から一二〇周年です。人生に喩えると大還暦の年にあたります。社協も新たな節目として、近年福祉のニーズも益々多様化が進んで、福祉対策も最重要課題です。今後は更なる福祉活動の充実強化をはかって、社協の福祉ここに有り」と願ってやみません。



早島町
福祉活動員協議会
会長
寺山 邦彦

創刊一〇〇号おめでとうございます。高齢化社会は大きな課題の一つです。家族や地域の絆が希薄化し、それに伴う問題がより切実になっていきます。生活支援等、町民の力一的かつ潤滑油的な役割を今後ともさらに発揮していただけることを社協に多いに期待しています。



早島町
民生児童委員
協議会 会長
渡邊 旭

社協では「はやしまほっとプラン」が昨年四月からスタートしました。一方、町行政では地域福祉計画を策定中です。また、地域包括システムの構築中でもあります。社協はこれらの背景のなか「高福祉の町づくり」に向けて担う役割は多く、重たいものがある反面、多くの町民に期待されています。



ふれあいいきいき
サロン
四つ葉会前湯
田中トキ子

四つ葉会前湯発足後十五年。現在まで継続できたのは社協及び自治会、地域の皆様のご支援のおかげと感謝しています。社協には、情報提供、戸外への移動手段等の支援を希望します。さらに自治会と協力して福祉活動を前進させてほしいと思います。



給食ボランティア
コスモス 代表
大倉 玲子

私たちの活動は多くの方々にご協力を載っており、心から感謝いたします。その中で、給食に参加したくても手段がなく来れない方々が気掛かりになっています。これから私達も、より広い視野を持ち、社会福祉協議会と共にこれらの課題を改善できることを願っています。



早島いぐさ手話
サークル
小林留理子

早島いぐさ手話サークルは、平成元年二月に結成した町内初のボランティアグループです。グループを立ち上げる際、同時期に設立の社会福祉協議会と会合を重ねながら活動を進めてまいりました。今後も活動の継続にご支援を必要としますのでよろしく申し上げます。



早島町
身体障がい者福祉
協会 会長
松岡 正弘

創刊一〇〇号おめでとうございます。当事者団体として小学生への車椅子体験教室等、障がい者理解を深める福祉教育について、社協と連携をとり、会の活動を大きく広めていくこと、また、町民に協力いただくことで、障がいのある人にとって住みよい町が実現することを望みます。

福祉のまちづくりフォーラム2016

実施月日 3月1日(火)

実施場所 ゆるびの舎

今年度2回目のフォーラムには、147名の町民や関係者の方々が来場。第1部では、町内で長年に渡り、本会事業にご尽力をいただいた方々や福祉活動に取り組まれている団体に感謝状が贈呈されました。

第2部では、3つの基本目標を軸に9つの活動目標で構成される『はやしまほっとプラン(早島町地域福祉活動計画)』の初年度の進捗状況を活動目標ごとに報告。特に今年度は外出支援活動の検討や試行が進み、「福祉車両による移動サービスや「サロン送迎活動」等、新たな住民参画の活動が誕生。



その他、ゴミ出し支援活動が行われるなど、'住民同士の支えあいの仕組みづくり'に向け、一歩前進した様子が事例を交えて伝えられました。



また、「ボランティア活動の今」と題した基調講演では、関西福祉大学社会福祉学部長の平松正臣教授が、ボランティア活動は、「人を幸福にして自分も幸福になろうとする活動」であり、「相手の立場に立って考え行動する心の働き」に基づいて、「人間として素直に行動すること」と説かれました。『はやしまほっとプラン』推進のキーワードはさらなる「住民参画」です。その原動力となるボランティア活動者の増加や活動の活性化が今後ますます期待されます。

感謝状贈呈者(順不同・敬称略)

=個人(6名)= ※8年以上の活動

- 渡邊 旭 (11年)
- 岡 敬 (10年10か月)
- 原 清次郎 (9年9か月)
- 野口 英臣 (11年3か月)
- 有澤 勝子 (8年)
- 森定 信子 (8年)

=団体(30団体)= ※5年以上の活動

福祉ボランティアグループ

- 早島いぐさ手話サークル (27年2か月)
- はやしま朗読ボランティア福来朗 (13年)
- 日曜大工ボランティアとんかち (10年)

- 早島要約筆記サークル'ぺんしる' (16年6か月)
- パンボラはやしま (11年6か月)
- 絵手紙ボランティアやまびこ (9年)

給食ボランティアグループ

- クローバー (25年)
- たんぽぽ (23年6か月)
- ひまわり会 (17年11か月)
- コスモス (24年5か月)
- スマイルわかみや (20年10か月)
- 市場撫子の会 (9年)
- スプリング (24年2か月)
- マスカット (18年3か月)

ふれあいいいききサロングループ

- 四つ葉会前湯 (14年9か月)
- 中山ふれあいいいききサロンさつき会 (13年11か月)
- 弁天井戸端喫茶 (13年10か月)
- はまぎくの会 (12年9か月)
- 喫茶とよく (11年9か月)
- 塩津いいききサロン (11年5か月)
- サロン若わか会 (8年11か月)
- しゃべろうかい (14年)
- いいききサロン市場 (13年10か月)
- サロン・ひだまり (13年3か月)
- いいききサロン久々原 (12年)
- いいききサロン三軒地 (11年6か月)
- 舟本コミュニケーションクラブ (10年10か月)
- 市場健康促進の会 (8年)
- なしず会 (13年3か月)
- 日笠山さくら会 (11年9か月)



ホームページのバナー広告募集中!

リニューアル予定の本会ホームページへの広告について、次のとおり募集をしています。掲載料金は、月2,000円です。

申込者の要件

- 本会の住民会員(特別会員)である団体、法人等

申込手続き等

- 所定様式により申込受付及び内容の審査を行います。
- バナー作成経費は広告主負担(作成協力可能)です。 ※縦60ピクセル×横180ピクセル(原寸大)

バナー画像の規格

- ファイルの種類: 「GIF」・「JPG」・「PNG」
- ファイル容量等: 10KB程度の静止画



社会福祉法人
早島町社会福祉協議会

お問い合わせ・お申込み先

早島町社会福祉協議会 ☎482-3000
http://www.hayashima-shakyo.jp





ケアマネジャーの よろこい談話室



私たちケアマネジャーは、在宅で介護認定を受けて生活をしている方の自立支援を目的に、在宅生活の継続を目標とし支援させていただいています。今年度は、サービスの活用方法・ご家族の対応のあり方について考えていきます。

第16回 「家がいちばん危険？」

今年度最後のテーマは転倒の環境的要因についてです。高齢者の事故が一番起きている場所は右記のグラフの通り、意外にも住宅での事故が多いです。特に居室、階段、台所の事故の割合が多くなっています。

今回は住宅の見取り図から危険な箇所を探し、自宅の安全な環境作りに向けて、解消方法を一緒に考えてみましょう。



高齢者(65歳以上)の事故発生場所



住宅での事故が8割近い!!

ケアマネジャーのひと言アドバイス

●危険な箇所を探してみましょう!!



3大危険箇所の解消方法

I 物につまづかないように整理整頓(居室)

- ① 床に小物などがあれば整理する
- ② 電気製品のコード、延長コード、電話線などは邪魔にならないよう部屋の隅に固定する
- ③ マットや敷物を固定する

II 段差を踏み外さない配慮(階段)

- ④ 薄暗い場所は日中でも照明をつける
- ⑤ 夜間は常夜灯などで足元を明るくする
- ⑥ 手すりをつける

III すべることを回避(台所、浴室など)

- ⑦ 台所や洗面所では、水をこぼした時にはすぐ拭く
- ⑧ 浴室の各所に手すりをつけたり、浴槽の底に滑り止めを付けることも有効

資料提供：株式会社トーカイなど

●介護やサービスに関するご相談は、早島町居宅介護支援センター(☎086-482-3516)まで

パート介護職員 募集中!!



パート介護職員
北 裕子



子育てと仕事を両立して楽しく働いています。希望の日に休みが取れるので安心ですよ。

勤務時間 8時30分から17時30分の間

勤務日数 週3日から5日

※日数や時間は相談に応じます。

お問合わせ先 早島町デイサービスセンター
(☎086-482-3517) まで



利用者さんの笑顔は職員の元気の源です!
私たちと一緒に働きませんか!



ホームヘルパー訪問記

このコーナーでは、私たち早島町ホームヘルパーステーションが、訪問しているご利用者の方とのやりとりや生活から、ホームヘルパーの気づきをお伝えしていきます。

2016-2-19 | ～手芸と友達に支えられてきた人生～

佐藤英子さん(79歳)は、ヘルパーの支援を週1回受けながら要介護のご主人を自宅で介護されています。ご自身も30年前に糖尿病を発症し、飲み薬と徹底した食事の管理で進行もせず主治医も驚くほど改善し、良い症例として学会で発表もされたそうです。

以前、大病を患い1ヶ月入院された時、ご主人が毎日かかさずにお見舞いに来てくれたことが忘れられず、今度は自分が介護したいと誠心誠意お世話をされています。



手芸が趣味で、週1回ご自宅に友達を招いて、わいわいとおしゃべりをしながら楽しんでいます。特にビーズ作りは、デザインまでご自分でされ、素晴らしい作品が並んでいました。

59年間続けた婦人会活動の仲間や、グランドゴルフの友達もたくさんおられ、「介護は大変だけど、手芸と友達が支えになって毎日が楽しいんよ。」と笑顔で話して下さいました。ご主人を支えそして友達に支えられて、これからも元気で楽しい日々を送れることを願っています。



(見せ丸、聞かせ丸、言わせ丸)

登録ヘルパー募集中!!

～ 私たちと一緒に楽しく働きませんか? ～

- 資格要件** 介護職員初任者研修修了者以上
- 活動時間** 8時30分～17時30分(月曜日から日曜日)のうち週1日の1～2時間程度でもOK(相談に応じます)
- 活動費** 生活援助 1,000円/時間
身体介護 1,400円/時間
- その他** 訪問1回につき活動費300円支給の他、諸手当あり。



●登録ヘルパーに関するお問合せは、早島町ホームヘルパーステーション(☎086-482-3518)まで



デイサービスセンター 通信



元気百倍!もちつき大会!

恒例のもちつき大会を行ないました。「ヨイショ!」のかけ声に合わせて利用者さんが杵でつく姿は毎年のことながら惚れ惚れします!会場は「ペッ

たん、ぺったん」と餅をつく音と、にぎやかな歓声に包まれました。つきたての餅はとてもおいしく「おかわり!」の声がたくさん上がりました。

腰の入った姿に拍手喝采!





ふくし活動フォトギャラリー



福祉映画会

視覚障がい者の方の日常生活へ理解を深めることを目的に開催した今回の映画会は5年目にして初の満員御礼。幼少の頃に病により視力を失いつつも、パラリンピックで金メダルを獲得するなど、逆境に負けない竹内昌彦氏の生き様に来場者は大変感銘を受けられた様子でした。(H28.1.23/ゆるびの舎)



福祉活動員協議会定例会

月次定例会でのミニ講座の様子。今回は、日本基準寝具株式会社との協力を得て福祉用具の体験や制度説明を受けました。最新の電動式車イスや入浴補助具、徘徊感知器や緊急非難時の用具等、進化する様々な福祉用具に触れ、参加者から感嘆や安堵の声が聞かれました。(H28.1.28/オアシス早島)



若宮地区高齢者友愛訪問活動

地区内の80歳以上の高齢者世帯を対象に、民生委員と福祉活動員を中心とした自治会福祉部の活動として毎年実施。今年度は96世帯へ綺麗なお花をお届けし、声かけや日常の困り事をお聴きしました。「いつも気にかけていただき恐縮です」と日頃の見守り活動への感謝の声が聞かれました。(H28.2.7/若宮地区内)



運転ボランティアくるりん設立総会

「はやしまほっとプラン」で掲げられる外出支援活動の検討メンバーを中心に、町内で8番目の福祉ボランティアグループが誕生。今後、社会福祉協議会に登録する町内の会食やサロン活動参加者の送迎活動等、高齢者や障がいがある方の移動支援活動を行います。(H28.2.9/オアシス早島)



片田地区新年もちつき会

春を感じさせる穏やかな風が吹く中、おろし醤油や干し海老等で味付けされたつきたての餅を、地区住民約80名が味わいました。3年目を迎え、自主参加の担い手と若い世代の参加者が増加。福祉活動モデル地区として最終年度を迎え、地区内の支え合いの機運が少しずつ高まっています。(H28.2.14/片田公民館)



コミュニケーション麻雀交流会

早島町と倉敷市で活動している2団体の交流会を開催。32名の参加があり、ペアの相手と相談しながら1手1手取り組み、楽しい時間を過ごされました。早島町では、定例会の他、出前体験も実施しています。詳しくは社会福祉協議会までお問い合わせください。(H28.2.24/オアシス早島)